



令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

今年度、4月17日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、児童・生徒の学校や家庭での学習状況（学習意欲、学習方法、生活の諸側面など）に関する調査と、小学生は「国語」「算数」「理科」、についての学力調査が行われました。

今回の調査結果は、川西小学校児童の学力の限られた一部分ではありますが、結果を基に本校の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。



小学6年生の学力調査では、「国語」「算数」「理科」の3教科で、「生活に不可欠な知識や技能など」に関する問題と、「知識や技能を活用する力や、課題解決力など」に関する問題が出題されました。それぞれの教科の調査結果から、川西小学校の児童の学力について、以下のような特徴が見られました。

【国語】

☆概ね力がついていること

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること

☆これから力をつけていきたいこと

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること

【算数】

☆概ね力がついていること

- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ること
- ・示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算すること
- ・角の大きさについて理解していること
- ・小数の加法について、数の相対的な大きさをを用いて、共通する単位を捉えること
- ・異分母の分数の加法の計算をすること
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすこと

☆これから力をつけていきたいこと

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して数量の増減を判断し、その理由を説明すること
- ・数直線上に示された数を分数で書くこと
- ・二つの数量を比較する場面において、百分率を用いた表現を解釈すること



【理科】

☆概ね力がついていること

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現すること
- ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いていること
- ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること

☆これから力をつけていきたいこと

- ・身の回りの金属の特性について理解していること
- ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること

生活実態調査は、「児童質問紙」として全71項目の質問によって行われ、全ての項目の回答結果について考察しました。その中で特徴的な項目については以下ようになります。

- ・「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の質問に「あまりしていない」「全くしていない」という回答が約22%でした。
- ・「学校の授業時間以外に、どのくらいの時間勉強をしますか」の質問に、「全くしない～30分未満」という回答が、平日は約27%、休日は約60%でした。
- ・「平日、授業以外で一日当たりどれくらい読書をしますか」の質問に、「全くしない～10分未満」という回答が、約46%でした。

帰宅後の時間をどのように過ごしているのかについては、各家庭の状況によって違うと思いますが、生活面の乱れがあると学習に対する集中力も低下すると考えられます。児童が主体的に自らの生活や学習の計画を立て、落ち着いた生活を過ごせるように、お子様と一緒に家庭での過ごし方を見直し、引き続き見守りをお願いします。

- ・「自分には良いところがある」と回答した児童は約92%、「将来夢や目標をもっている」と回答した児童は約81%、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童は100%でした。
- ・地域の行事に進んで参加している児童が多く、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した児童は約95%でした。
- ・「人が困っているときには、進んで助けている」と回答した児童が約95%でした。しかし、約5%の児童は、困っている人を助けることに対して消極的な回答をしています。

川西小学校の児童は、自己有用感が高く、友人関係にも満足している児童が多い事がわかります。しかし、一部の児童には否定的な回答が見られることから、学校や地域での人とかかわりを通して、自己有用感や思いやりを更に高められればと思います。

学校では、生活場面や学習場面、児童会活動（川西フェスティバル、大なわ大会など）の行事を通して、引き続き人とかかわる活動に取り組んでいきます。ご家庭でも、様々な地域活動に参加して、豊かな体験・経験ができるよう、ご協力をお願いします。

川西小学校の校訓「みんなでみんなを」にあるように、人とかかわり合いながら、思いやりとたくましさをもった主体性のある児童の育成をめざしてまいります。川西コミュニティースクールとして、学校と家庭、地域が連携して地域総がかりの教育を進めたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

生活・学習の状況